

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	道路の上方空間の利用に関する調査検討経費		担当部局庁	道路局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	H22		担当課室	路政課道路利用調整室		室長 河内 達哉	
会計区分	一般会計		施策名	5-15 道路交通の安全性を確保・向上する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路法第32条第1項 道路法第47条の6 道路法第92条第1項		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	道路と建築物の立体的利用は、道路占用制度、立体道路制度又は廃道により行っているところであるが、それぞれの場合の事業者の費用及び実務上の課題を明らかにすることにより、今後の制度検討の資料とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①道路と建築物の立体的利用に係る事業者の費用の試算 箇所を選定をした上で、占用、立体道路、廃道の各手法を利用した場合の、30年間、50年間の事業者の費用を試算する。 ②事業者の費用・収益のシミュレーション 占用の場合の事業者の費用・収益についてシミュレーションを行う。その際の占用料は、現行の占用料(地価に比例した定率)、収益占用料、利益占用料の3通りとし、費用の回収に要する期間をシミュレーションする。 ③事業者の権利関係に関する調査 占用、立体道路、廃道の各手法について、権利関係に由来するメリット・デメリット、実務上の課題を調査する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	12	-	-
		繰越し等	-	-	0	-	-
		計	-	-	12	-	-
	執行額	-	-	7	-	-	
	執行率(%)	-	-	58.2%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	道路と建築物の立体的利用が適切に行われるための制度の創設		成果実績	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	道路と建築物の立体的利用における運用方策の検討材料とするために調査を実施		活動実績(当初見込み)	-	-	-	(-)
単位当たりコスト	-		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	該当なし						
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・道路と建築物の立体的利用については、規制改革要望、道路空間オープン化の提案募集等で求められているものであり、制度のあり方を検討する必要性が高いものであった。</p> <p>・発注は一般競争入札により行っており、競争性・透明性は十分に確保されている。不用率が44%となっているが競争入札の成果であり問題は無い。</p> <p>・調査内容は、様々な事業主体の費用・収益のシミュレーションなど専門性の高いものであり、行政単独では成果を得ることが困難なものである。成果物は、制度改正の資料として有効に活用されている。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
廃止③		本検討業務については廃止することとするが、本検討で得られた知見を活用し、道路交通の安全性を確保した上で、より有効な道路の上方空間の利活用に向けた取組みを行う。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

国土交通省
6百万円

〔道路の上方空間の利用に関する調査検討業務の発注〕



【一般競争入札】

A. エム・アール・アイ
リサーチアソシエイツ
株式会社
6百万円

〔道路の上方空間の利用に関する調査検討〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	道路の上方空間の利用に関する調査 検討	6			
計		6	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	エム・アール・アイ リサーチ アソシエイツ株式会社	道路の上方空間の利用に関する調査検討	6	1	59%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					